

## ネイティブ環境DNAプスチラナーゼ ( $\beta$ -グルカナーゼ)

Cat. No. NATE-0645

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 熱安定性の $\beta$ -1,6-エンドグルカナーゼまたはプスチラナーゼ (E.C. 3.2.1.75) は、プスチランおよび1,6結合のグルコースユニットを含む他のペータグルカンにおける $\beta$ -1,6結合の切断を触媒します。この酵素は、米国FDA局方食品および化学物質インデックスに記載されているように、ペータグルカンの標準アッセイの成分となっています。

**別名** EC 3.2.1.75; グリコシダーゼ; プスチラナーゼ; グルカンエンド-1,6- $\beta$ -グルコシダーゼ; 6- $\beta$ -D-グルカングルカノヒドロラーゼ; エンド-1,6- $\beta$ -グルカナーゼ;  $\beta$ -1 $\rightarrow$ 6)- $\beta$ -D-グルカナーゼ;  $\beta$ -1,6-グルカナーゼ-プスチラナーゼ;  $\beta$ -1,6-グルカンヒドロラーゼ;  $\beta$ -1,6-グルカン 6-グルカノヒドロラーゼ; 1,6- $\beta$ -D-グルカングルカノヒドロラーゼ

### 製品情報

<b>種</b>	環境DNA
<b>由来</b>	独自のメタゲノム環境DNA
<b>EC番号</b>	EC 3.2.1.75
<b>CAS登録番号</b>	37278-39-0
<b>最適pH</b>	適切なpH範囲は約5-8で、最適は約5.5です。
<b>最適温度</b>	酵素は比較的広い温度範囲 (65-90°C) で活性があり、最適温度は約80°Cです。
<b>特異性</b>	Cel136 ペータグルカナーゼ (プスチラナーゼ) Cel136 は、プスチラン ( $\beta$ -(1,6)-D-グルカン) やゲンティオピオース ( $\beta$ -(1,6)-結合二糖) のような $\beta$ -(1,6) 結合を持つ $\beta$ -グルカン多糖類や、ラミナリン ( $\beta$ -(1,3/1,6)-D-グルカン) や酵母 $\beta$ -グルカン ( $\beta$ -(1,3/1,6)-D-グルカン) のように混合結合を含む $\beta$ -グルカンを加水分解します。基質特異性分析 (以下) によると、この酵素は $\beta$ -(1,3) または $\beta$ -(1,4) 結合を切断せず、リケナン ( $\beta$ -(1,3/1,4)-D-グルカン) や CM-セルロース ( $\beta$ -(1,4)-D-グルカン) の $\beta$ -グルカンに $\square$ して活性を示しません。
<b>単位定義</b>	酵素活性の1単位 (U) は、1分あたり1 $\mu$ molの還元糖の放出を引き起こす量です。